

新技術・情報名	温州ミカンの貯蔵病害防除薬剤の効果
場所名	長崎県果樹試験場
<p>1. 成果の内容</p> <p>1) 技術・情報の内容及び特徴</p> <p>一昨年産、昨年産と温州ミカン特に早生温州で立木上での果実腐敗病が多発したが、その主な病害は白かび病で、トップジンM水和剤の防除効果が低かったためと考えられている。また貯蔵中の青かび病、緑かび病による腐敗に対してトップジンM水和剤の効果減退もみられている。これらに対してベフラン液剤の効果が優れる。そこで白かび病が多発した地帯でこれら薬剤の防除効果を検討した。</p> <p>気象条件がよく、白かび病や立木上の腐敗は少なかったが、貯蔵中の青かび病緑かび病に対してはトップジンM水和剤、ベフラン液剤ともに防除効果がみられ、必ずしもトップジンM水和剤の効果が低いわけではない。</p> <p>このため貯蔵する温州ミカンの青かび病、緑かび病の発生防止にはトップジンM水和剤、ベフラン液剤ともに使用できる。</p> <p>2) 技術・情報の適用効果</p> <p>薬剤のローテーション使用ができ、抵抗性の発達を遅延できる。</p> <p>3) 適用範囲</p> <p>貯蔵するカンキツ類</p> <p>4) 成果の利活用・普及指導上の留意点</p> <p>収穫前に台風など強風雨があって果実に傷が生じる場合には、立木上で白かび病や青かび病が多発するが、これにはトップジンM水和剤は効果がない。また耐性菌株率が50%以上の場合はベフラン液剤にかえる。</p> <p>収穫後の果実の取扱を丁寧に行うことが果実腐敗を少なくする基本である。</p>	

2. 具体的データ

表1 貯蔵病害に対する防除効果（原口早生）

処 理 区	累 積 発 病 率 (%)	
	収穫1週間後	収穫2週間後
トップジンM水和剤 2000倍	0.0	0.0
ベフラン液剤 2000	0.0	0.0
無 処 理	0.0	0.0

*) 10月25日散布、11月5日収穫

表2 貯蔵病害に対する防除効果（青島温州）

処 理 区	累 積 発 病 率 (%)				
	12. 20	1. 4	1. 17	1. 31	2. 14
トップジンM水和剤 2000倍	0.0	2.0	3.9	3.9	9.8
ベフラン液剤 2000	0.0	2.0	2.0	4.0	8.0
無 処 理	0.0	2.0	10.0	20.0	24.0

*) 11月22日散布、12月7日収穫

3. その他特記事項

担当部科名：病害虫科

研究課題名：果樹の特殊病害虫発生状況調査

研究期間：昭和58年～